

計画のイメージ

計画の構成案（イメージ）

構成は、今後計画の作成を進める中で、再度検討する。

第1章 計画策定にあたって

1. 計画策定の背景

2. 計画の目的

- ・将来の少子高齢化の進展を見据えて、通勤・通学交通や買い物交通の確保、公共交通不便地域の解消、交通事故対策など、持続的かつ効率的で誰もが移動しやすい交通を形成するため、大田区として総合的な交通の計画を策定する。

3. 計画の対象

3-1. 対象地域

- ・大田区全域

3-2. 施策の範囲

- ・まちづくり、産業、観光、環境、福祉、子育て等と一体となった交通施策を対象とする。
- ・対象交通は、鉄道、バス（コミュニティバス含む）、水上交通、タクシー、自動車、自転車（シェアサイクル含む）、歩行者など広く対象とする。

3-3. 計画の主体

- ・計画に関わる主体として、大田区、交通事業者のほか、国、都、区民や市民団体等も想定する。

4. 計画の位置付け

- ・「大田区基本構想」、「大田区10か年基本計画 おおた未来プラン10年」、「大田区都市計画マスタープラン」に準拠し、「(仮称) おおた都市づくりビジョン」、各関係計画と整合を図る、交通に関わる基本的かつ総合的な計画。

5. 目標年次

- ・計画年次を平成40年（2028年）とするが、これに縛られずにあるべき姿を想定する。（「(仮称) おおた都市づくりビジョン」と調整を図る。）

第2章 区の交通の現況と課題

1. 交通を取り巻く社会情勢

1-1. 人口動態

1-2. 都市計画、まちづくりの動向

1-3. 産業の動向

1-4. 今後予定されている大規模な基盤整備

2. 交通特性

2-1. 本市の交通概況

2-2. 人の動きの状況

2-3. 区民意識

3. その他関連する分野の状況
 - 3-1. 観光等の動向
 - 3-2. 災害の状況
 - 3-3. 環境への配慮
 - 3-4. 交通に関わる将来動向

第3章 大田区が目指すまちの姿

1. 大田区基本構想、基本計画、都市づくりビジョン
2. 大田区都市計画マスタープラン
 - 2-1. 都市づくりの理念、方向性
 - 2-2. 将来都市構造
 - 2-3. 大田区都市計画マスタープランに示されている交通課題

第4章 交通政策基本計画の基本的な考え方

1. 計画の目的
2. 計画の理念 ……3つの理念、そのイメージを示す
3. 目指す姿
※本計画で目指す区のイメージをさらに示す。切り口等は今後検討。
(区が想定する方向性をここで分かりやすく打ち出す。)

第5章 施策展開

1. 施策の体系
2. 施策内容
 - 2-1. 「暮らし」に関わる施策
 - 2-2. 「都市の活力」に関わる施策
 - 2-3. 「環境」に関わる施策
3. リーディングプロジェクト

第6章 本計画の推進に向けて

1. PDCA マネジメントサイクルによる計画の推進
2. モニタリング指標
3. 交通の担い手（役割分担）の考え方

参考資料



第4章と第5章のイメージを、次ページ以降に示す。

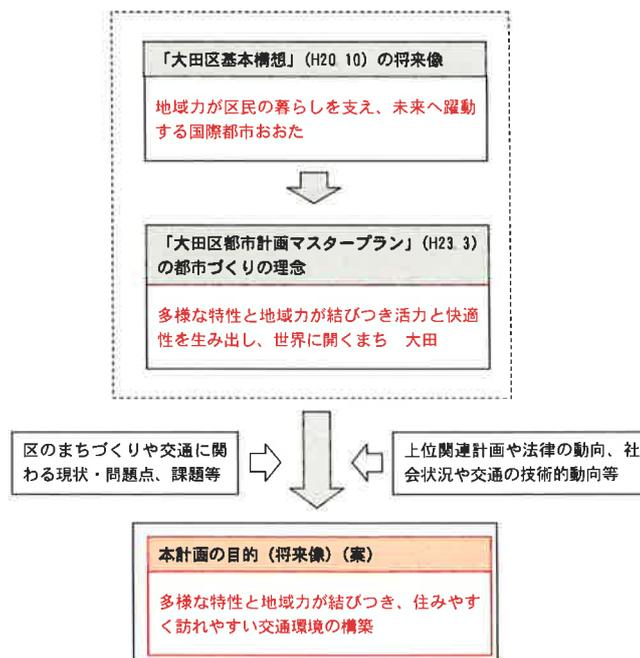
※次ページ以降に、計画のイメージを示す。これはあくまでもイメージであり、今後、計画の作成を進める中で、構成、内容、体裁等は再度検討する。

第4章 交通政策基本計画の基本的な考え方

1. 計画の目的

平成 25 年 11 月に成立した交通政策基本法に基づく、国の交通政策基本計画を踏まえ、
 地方公 計画的
 に実施 港機能
 大田 空港
 や空港 ネット
 ワーク られて
 います。 や買
 区内の います。
 物交通の ます。
 これ 踏まえ、
 少子高 です。
 その 一プラ
 ン（平成 組みに
 より実 住みや
 しく訪 りの力
 を源と 率的で
 誰もが移動しやすい大田区を目指します。

イメージ



※「地域力」とは、区民一人ひとりの力を源として、自治会・町会、事業者、団体・NPO など様々な主体が持っている力、それら相互及び区との連携・協働によって生まれる力を含んだものです。

2. 計画の理念

本計画の目的（将来像）の実現を図るため、区のあるべき姿（理念）として、以下の「暮らし」、「都市の活力」、「環境」の3つのキーワードで示す理念を設定します。

【キーワード】 暮らし

誰もが住み慣れた地域でいきいきと快適に暮らせる、移動しやすい交通環境の整備

公共交通や道路交通の機能向上、自転車利用環境の充実、歩行者重視の道路空間づくりを行うと、従来の自家用車移動困難など誰も都市計画を確保します。

イメージ

り、従来の子育て世帯る交通環境

【キーワード】 都市の活力

産業や仕事、人々の交流など、都市のにぎわいや活力を支える交通環境の整備

商業や買、提供します。また、羽田空港と連携し、など、羽田への支援など、外国人また、仕事セスの強化など、仕事や

イメージ

【キーワード】 環境

地球や都市、人にやさしく、安全安心な交通環境の整備

自家用車から公共交通機関や自転車などへの転換、交通渋滞の緩和、物流の効率化などを図ること
道路の緑
次世代自動
します。

都市計画
過交通の侵
重点整備
の整備を進
スペースの

イメージ

の形成、
境に寄与
路への通
、散策路
備や駐輪

公共交通
防災性向上を図ること、災害に強いまちづくりへの交通を支援します。

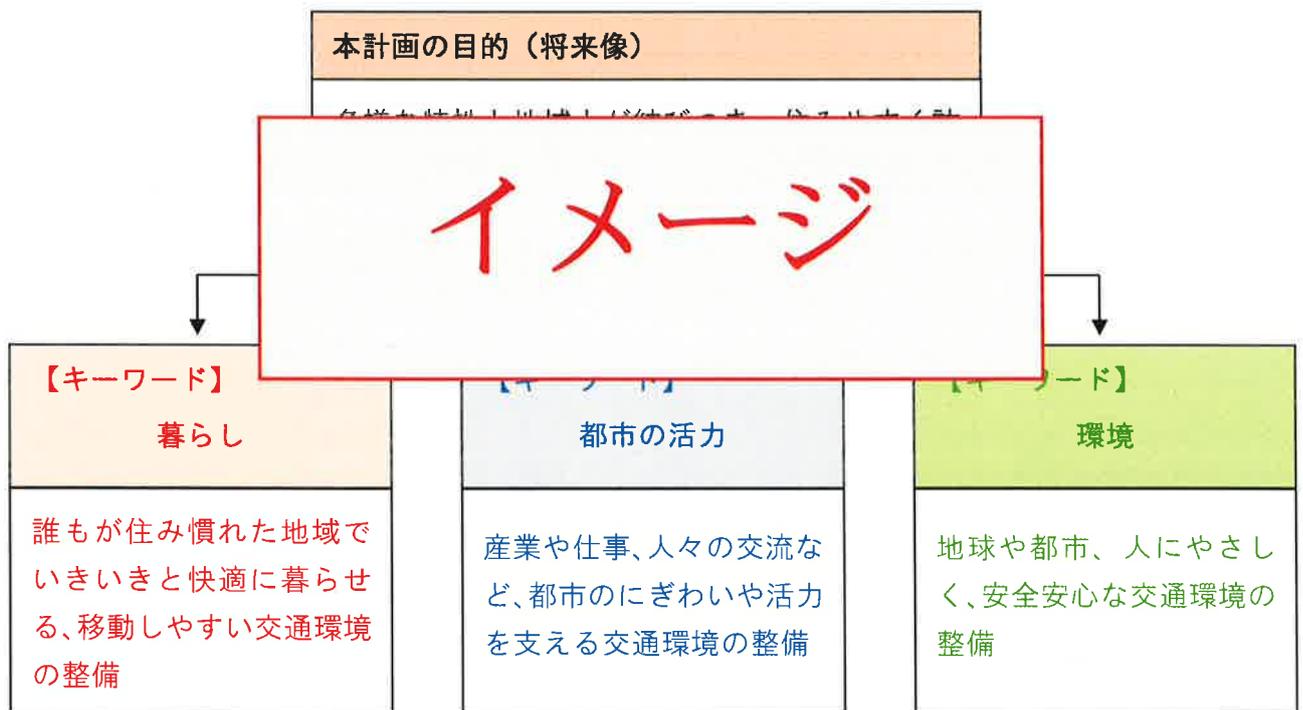


図 本計画の目的（将来像）と計画の理念

3. 目指す姿

羽田空港のアクセス交通として、交通結節点における乗換利便性の向上を図り、多様な交通モード間の連携を図ることで、羽田空港のアクセス性の向上を図る。

通勤・通学や買い物などの生活交通について、鉄道やバスの利用とともに、自転車、タクシー、カーシェアリング等、多様な交通モード間の連携を図ることで、公共交通不便地域の解消に向けた取組みを行う。



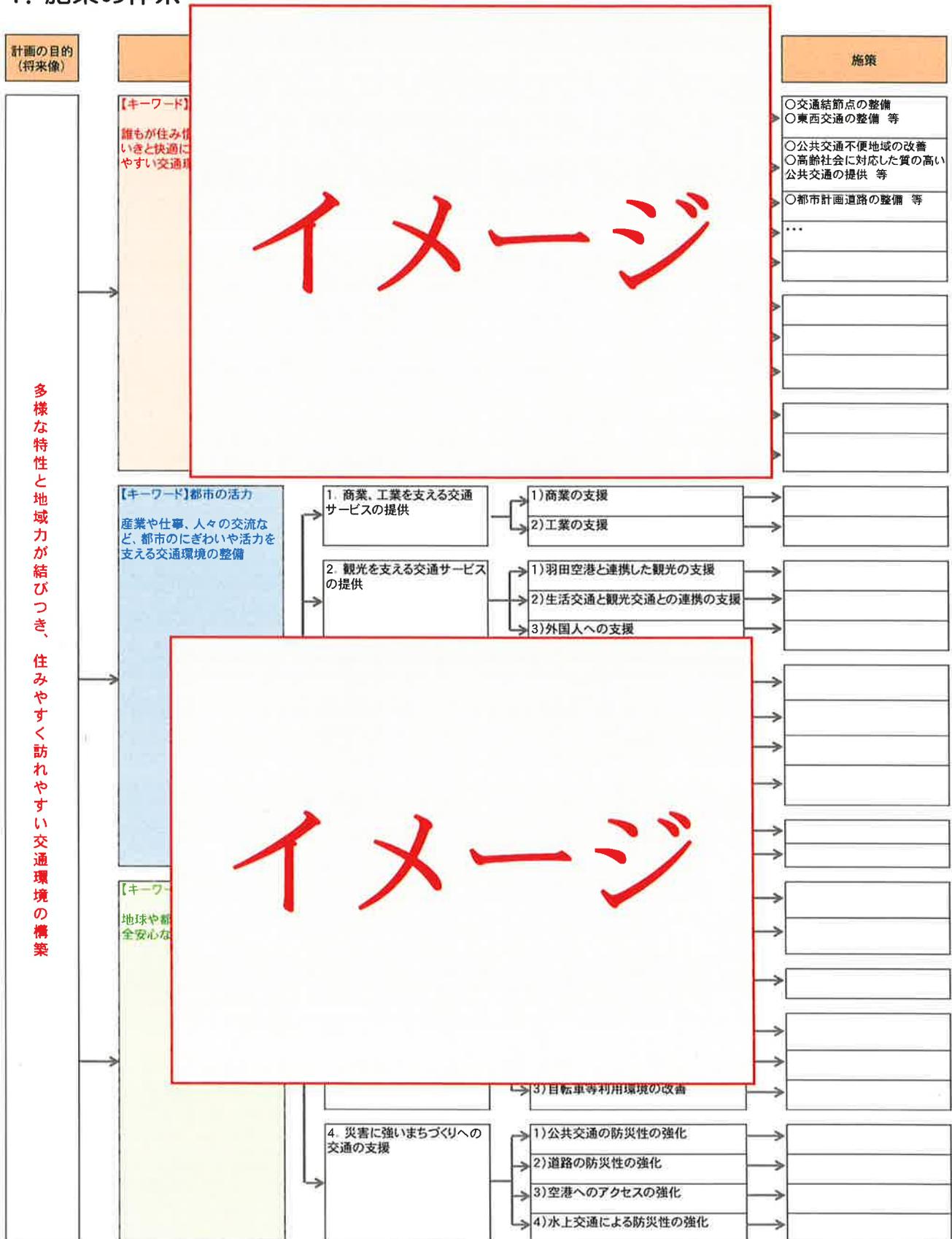
交通軸と交通拠点を設定し、その連続性を確保する。

産業・流通系交通（主に物流）と、通勤・通学・買物系の交通（人流）を適正に分離し、国際交通、地域間交通、地域内交通の体系化を図る。



第5章 施策展開

1. 施策の体系



2. 施策内容

2-1. 「暮らし」に関わる施策

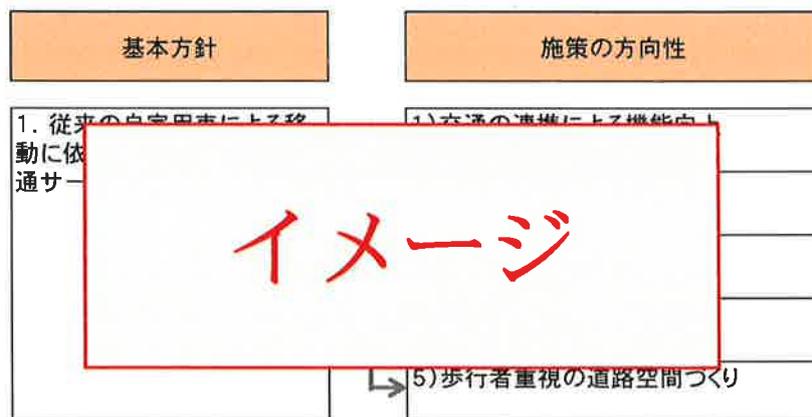
基本方針1. 従来の自家用車による移動に依存せずに出出できる交通サービスの提供

自家用車は、ドア to ドアで移動できる非常に便利な交通手段です。

大田区は、臨海部をはじめとして、工場や流通施設などに関する物流の貨物車も走行するこ
131
布線
ま
低い
要因
大
な地
バス
そ
りを
存せずに出出できる交通サービスを提供します。

イメージ

「基本方針1. 従来の自家用車による移動に依存せずに出出できる交通サービスの提供」を実現するため、「暮らしに関わる交通の連携による機能向上」、「公共交通の機能向上」、「道路交通の機能向上」、「自転車利用環境の充実」、「歩行者重視の道路空間づくり」の5つの方向性で進めます。



施策の方向性

1) 暮らしに関わる交通の連携による機能向上

○交通結節点の整備

- ・まちづくり（主要駅周辺の再整備による都市機能の誘導・集約、景観や防災面の向上等）
- と
- ・中長
- の
- ち

○東西

- ・大
- ・JR
- ・中長
- す。

○公共

- ・鉄
- ・中長

を検討します。

イメージ

す
ま
の
ま
方

■取組むべき施策

施策名	概要	実施時期	
		短期	長期
1) 交通結節点の整備	イメージ		→
2) 東西交通の整備			→
3) 公共交通機関の乗り			→
4) 多様な移動サービス			→
	包含した、ドアtoドアの移動サービスの検討		

2) 公共交通の機能向上

○公共交通不便地域の改善

- ・需要の少ない地区でのデマンド交通の利用や、区民の力（ソーシャルキャピタル）を活用
- ・コ
- ・討

○高

- ・中
- ・車
- ・共

○緊

- ・JR
- ・者
- ・中

○バ

- ・高
- ・（

○タ

- ・タ
- ・各

・中長期的には、メ

イメージ

■取組むべき施策

施策名	概要	実施時期	
		短期	中長期
1) 公共交通不便	イメージ	→	
2) 高齢社会に對 通の提供		→	
3) 緊急に對策の 応		→	
4) バス停留所の			
5) タクシーの公			
	サービスの活用の促進		✓

3. リーディングプロジェクト

この計画で示した取り組みを進める上で核となり、先導的な役割を果たす取り組み（リーダー）

- 1)
- 2)
- 3)
- 4)
- 5)
- 6)
- 7)
- 8)

イメージ

1) 台地区における

道路の整備

自転車利用

ネットワークの

あり方の

離れた外出
パック

の整備

イメージ

